

### 1 3) 亀遊嶋辯天堂 (きゆうじまべんてんどう)

御本尊：亀遊嶋辯才天像

亀遊嶋辯天堂は、境内東側の池の島に建つ、二層の屋根が特徴的な六角堂です。

名称は、お堂の姿を、池に遊ぶ亀の甲羅に見立てて名付けられたのではないかとされています。

御本尊は、八臂像で、頭の上に翁面蛇体（おうめんじゃたい）の宇賀神をいただく宇賀辯才天の御姿です。

手には弓、矢、刀矛、宝珠、棒、鉄輪、鍵を持ち、音楽神、福德神、学芸神戦勝神、財福神と幅広い性格を持つ霊験あらたかな辯才天として信仰を集めています。



### 1 4) 北鐘堂

御本尊：阿弥陀如来像

北鐘堂（きたがねどう）は、正式名称を「黄鐘楼（おうしょうろう）」と言います。

中心伽藍の左（西）後ろ側に、右（東）の太鼓楼と対となるように建立されています。

北鐘堂の鐘の音は極楽浄土まで響くと伝えられ、日々、先祖供養のために多くの人が鐘を鳴らしていきます。

ただし、こちらの鐘は天井裏にあり、綱を引いてつくようになっているため、鐘自体を見ることはできません。

黄鐘楼（北鐘堂）で引導鐘を撞くと聖徳太子が極楽浄土に引導してくださると信仰される。

